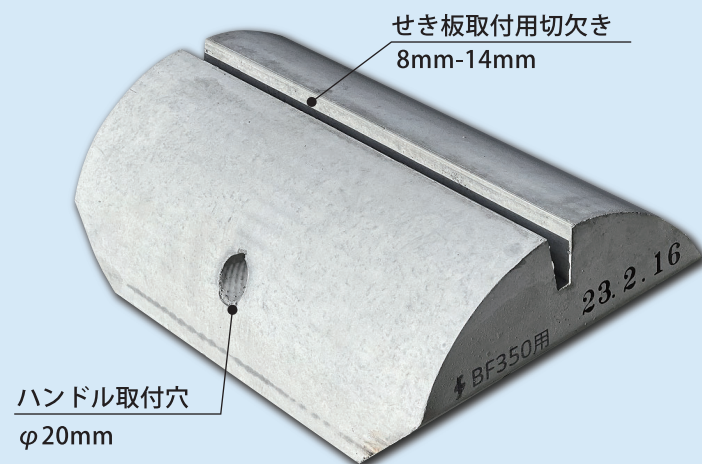


ゲタ水ブロック概要

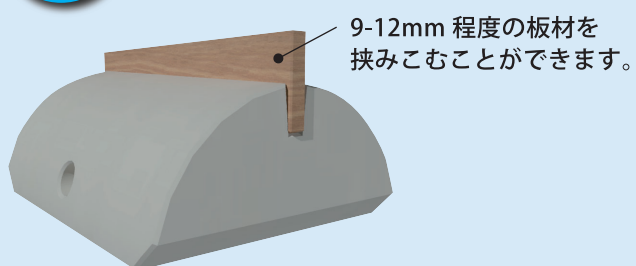


ゲタ水ブロックとは？

水路から水田へ水を取り入れるのに必要な水位を確保するために、水路内に設置するカマボコ型のコンクリートブロックです。一般的なベンチフリュームタイプの水路に合わせた各種規格を取り揃えています。

ポイント
1

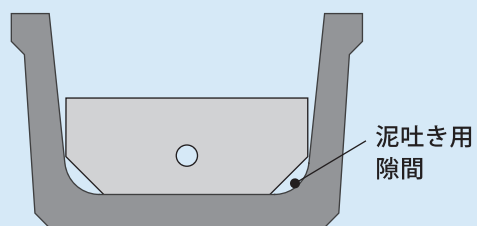
せき板を挟み込んで水位調整が可能

ポイント
2

半円断面のためゴミが引っ掛かりにくい

ポイント
3

泥が溜まりやすい両隅に隙間を設けて下流に泥を吐く

ポイント
4ハンドル取付穴利用により、
楽な姿勢で設置・撤去・移動が可能

13mm 鉄筋を Z 形状に曲げたハンドルにより、
重いブロックも楽に扱えます。

規格表

呼び名	断面図		正面図		(単位: mm)				
	W1	B	W2	C	製品幅 W1	製品個数	合計製品幅	ブロック高 H	底版長 B
BF300用	265	100	185	40	265	1	265	100	200
BF350用	300	100	220	40	300	1	300	100	200
BF400用	350	125	250	50	350	1	350	125	250
BF450用	395	125	295	50	395	1	395	125	250
BF500用	220	125	120	50	220	2	440	125	250
BF550用	240	125	140	50	240	2	480	125	250
BF600用	265	125	165	50	265	2	530	125	250

※形状は予告なく変更となる場合があります。

▼本製品のお問い合わせは



昭和コンクリート工業株式会社

〒500-8703 岐阜県岐阜市香蘭 1 丁目 1 番地

営業本部：TEL 058-255-3337

担当：小澤（おざわ）携帯 070-1428-4606

節水
省力化
シリーズSHOWA CONCRETE
INDUSTRY co.,ltd.給水制御器 イタオトシ
用水路水位かさ上げ用ブロック
かまぼこ型 ゲタ水ブロック

正確な田面水位管理、用水の無駄防止、環境負荷低減を実現

給水制御器 イタオトシ



事前に設定した田面水位に達すると自動的にゲートが閉じて、給水を停止します。

「かけ流し」を解消することで、「無駄水」をなくすとともに、「肥料分の流出」を抑制し、水資源の節約と環境負荷の低減を実現します。

水位センサー

ゲート部

用水路水位かさ上げ用ブロック

かまぼこ型ゲタ水ブロック

水路から水田へ水を取り入れるのに必要な水位を確保するために、水路内に設置するブロックです。

水位かさ上げ用のゲタ水の代わりになるもので、水資源の節約を実現します。

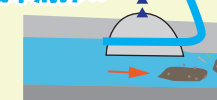
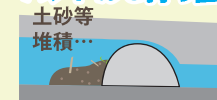
ゴミがかりにくい「かまぼこ形状」を採用しています。



せき板取付用切欠き

ハンドル穴

ハンドルで持ち上げて簡単清掃!!



※開水路では、自動給水開始は下流農家へ迷惑をかける可能性があるため、本製品では、生育確認等の毎日の圃場巡回時に農家が水路流況を確認したうえで、手動で給水開始することを前提としています。

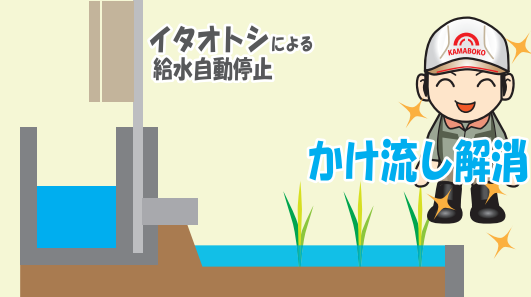
「イタオトシ」と「ゲタ水ブロック」が解決する課題

課題1 かけ流しによる「無駄水」と「肥料分の流出」

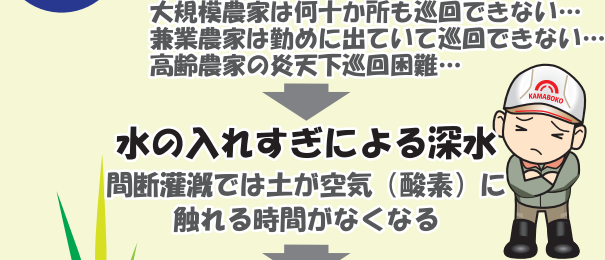


イタオトシ 設置 節水と環境負荷低減を実現!!

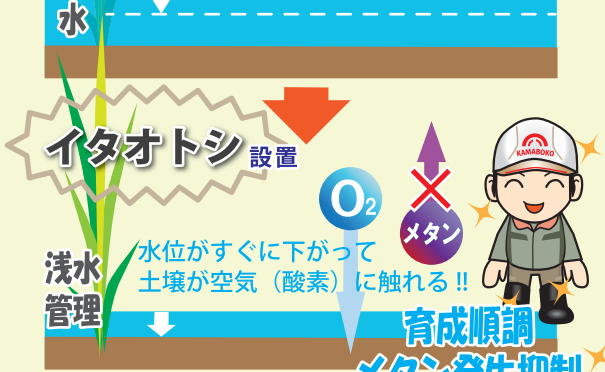
水位が排水せき板天端を越える前に取水を停止し「かけ流し」を解消。



課題2 正確な水管理のためには水位確認の圃場巡回が必要 大規模農家は十か所も巡回できない... 兼業農家は勤めに出ていて巡回できない... 高齢農家の農天下巡回困難...



イタオトシ 設置 水位がすぐに下がらない



課題3 下流側の水田では水位が下がり十分な取水ができない



ゲタ水ブロック 設置 安定した取水と節水を実現!!



節水と確実な取水を両立。

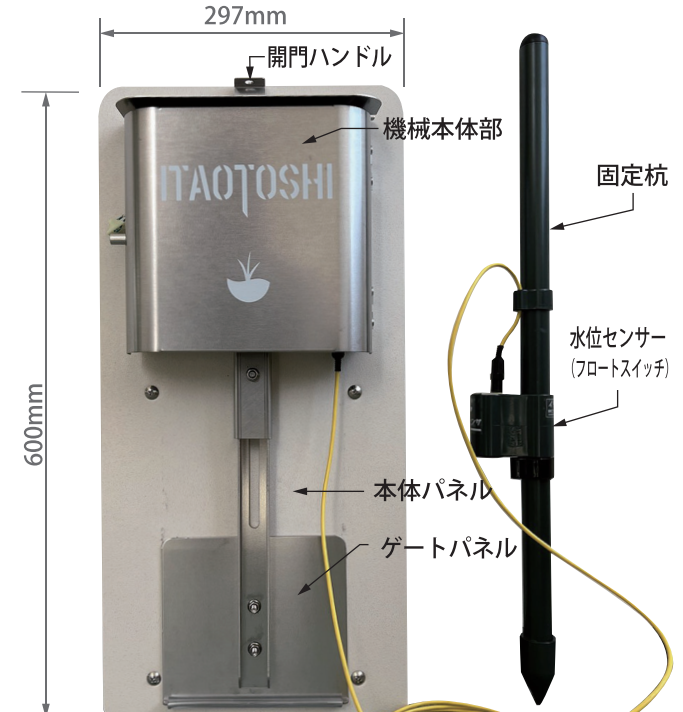


せき板操作を簡単に。



確実な取水と節水、環境負荷低減を実現するとともに、立ったままの楽な姿勢で操作できるなど、日々の作業負担も軽減します。

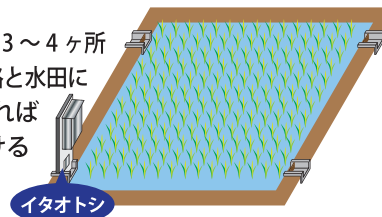
イタオトシ 概要



主要材質
本体カバー、ハンドル、ゲートパネル：ステンレス
本体パネル：樹脂（リサイクルプラ+PP）
※予告なく形状変更となる場合があります。

設置数について

1ha 規模の大区画水田には、3～4ヶ所の給水口がありますが、水路と水田に10cm 程度の水位差があれば1ヶ所にイタオトシを付けるだけで給水できます。



イタオトシとは？

水田取水において、事前に設定した水位に達すると自動的にゲートが閉じ、給水を停止する給水制御装置です。
※開門は現地で人が水路流況や田面水位を見て手動で行います。

特長

- 立ったままの楽な姿勢で、ハンドルを引き上げるだけで開門操作ができます。
- 電源は市販乾電池（単三電池 ×4 本）で通信等を行わないため、基地局の設置や通信料等の本体外費用が不要です。
- 機械部はスイッチ類を基本としたシンプル構造で低コストなことに加え、故障しにくく修理も容易です。
- 主要部材はステンレス製及び腐食に強い樹脂製のため、劣化しにくく、頑丈です。

規格

ゲート幅が異なる3タイプがあります。取付部の幅に合わせて選定してください。

呼び名	W100 型	W120 型	W160 型
ゲート幅 (w)	100mm	120mm	160mm
ゲート高 (h)		110mm	
水路水口最小幅	160mm	180mm	220mm
水口溝奥最小幅 (A)	170+mm	190+mm	230+mm



取付手順

1. 取付部計測（幅）



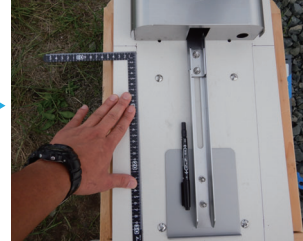
取付部（水口溝奥）の幅寸法を正確に計測します。
※テーパがある場合は上下端で計測を行ってください。

2. 取付部計測（高さ）



取付部の高さ寸法を正確に計測します。

3. ケガキ



本体パネルに取付部寸法を転写します。
幅方向は実測値 -5mm 程度
高さは実測値 +5mm 程度でケガキ線を引きます。

4. 本体パネルカット



ケガキ線に沿ってノコギリで本体パネルをカットします。
※木工用、塩ビ用のノコギリが利用できます。

5. 水路への設置



本体を水路の取水口（水口）に取付けます。

6. 水位センサーの設置



水位センサーの固定杭を水田に押し込み、目標水位に水位センサー高さを調整します。

7. ケーブル接続



センサーケーブルを接続し、主電源スイッチを入れて設置完了です。

8. 運用開始



ハンドルでゲートをあげて取水を開始します。